

取組方針

富士電子工業株式会社は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあったプラスチック製品や電子部品などの選別や加工をしています。
また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）

- ② 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和2年2月20日

富士電子工業株式会社
代表取締役 今井淳一

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、令和1年度の95,076kg-CO ₂ を基準として令和4年度までに2%削減し93,174kg-CO ₂ に削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) <ul style="list-style-type: none">① 作業効率の改善により残業時間を少なくする② 空調機器の一斉の起動を避ける③ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する④ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る⑤ コンプレッサーのエアールールを定期的に点検する⑥ 事務室の空調温度を適正（冷房時28度、暖房時20度）に設定する⑦ パソコンとコピー機の節電機能を活用する⑧ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

目標一2	コピー用紙の使用量を、令和1年度の36.4kgを基準として令和4年度までに35.6kgに削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) <ul style="list-style-type: none">① 使用済み用紙の裏面を利用する② 書類、資料の電子データ化を進める

目標—3	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <p>① 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する</p>

目標—4	社内の取組体制構築、環境保全に関する地域社会への貢献活動推進
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <p>① 環境関連のセミナーに参加する</p> <p>② 会社の敷地内の緑化を行う</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境活動委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。